

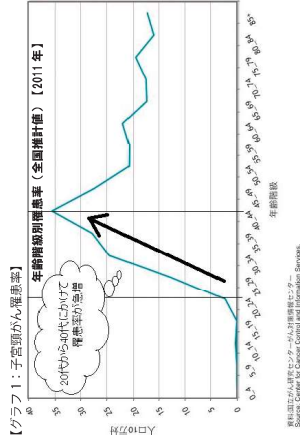


はじめまして。この春から保健福祉課に配属されました。新人の保健師です。今回は子宮頸がんに関するスポッ
 トを当ててお話をしますが、私は佐呂間町に来たばかりで町の検診について、まだまだ分からないこと
 だらけ…。ということで今回は、佐呂間町の検診の状況について先輩保健師に話を聞いてみました。

“子宮頸がん.. は「若いから大丈夫！」が通用しない病気です!!

●がんと聞くとほとんどが40歳以降の年齢でかかりや
 すいといったイメージがあります。20代や30代の若
 い人でもがんにかかるのでしょうか？

確かに、乳がん、胃がんなどほとんどのがんは40歳
 以降に患者が増える傾向にあります。一方、子宮頸がん
 は20代から40代にかけて患者が増加しており、他
 のがんよりも発生しやすい年齢層が若くなっています。
 そのため、若い年代からの子宮がん検診の受診が必要
 とされています。(グラフ1) 一方で、昨年度の佐呂間
 町の子宮がん検診の状況を見ると、受診者数は211名、
 受診率は17.5%で、国の示している目標値の50%より
 も大きく下回っています。また、受診者の年齢を見ると
 40代から60代が7割を占めています。20代から30
 代の受診者は少なくなっています。(表1)



【表1：平成27年度子宮がん検診受診状況】

表 2-1-1 年齢別受診者数								
年	代	29 ～	30 ～	39 ～	49 ～	59 ～	69 ～	70～ 計
受診者数	5	30	51	43	55	27	211	
有視患者数	0	4	20	18	17	8	67	
受診者割合	2.4%	14.2%	24.2%	20.4%	26.1%	12.7%	100%	

●子宮頸がんはヒトパピロマウイルス (HPV) というウイルスに感染することによってがんが発生すると聞いたことがあ
 ります。

HPVは主に性行為で感染しますが、20代であればほとんどの人が1度は感染したことがあるといわれています。感染
 したらすぐにがんになるわけではなく、ウイルスによって細胞がゆっくりと変異し、何年もかけてがんが発生します。

●ほとんどの人が感染したことがあるなら、誰でもがんにかかる可能性があるのですね。
 その通りです。自分は大丈夫と思わず、20代、30代のうちから定期的にがん検診を受けることが大切です。

何かあってからでは手遅れ。 “早期発見、のために検診を受けましょう

●もし子宮頸がんにかかった場合、どのような症状が現れるのでしょうか？

子宮頸がんの発生初期は自覚症状がほとんどありません。がんが進行すると、生殖器からの不正出血や悪臭のするおりも
 の、下腹部痛などの症状が現れます。がんの進行段階により、手術による外科的療法、放射線療法、化学(薬物)療法な
 どを組み合わせて治療を行います。

●症状が出てから病院を受診するというのではいけないのでしょうか？

子宮頸がんの場合、出血等の症状があったからでは、すでに広範囲に進行している可能性が高いです。その場合、子宮
 を全て取り出す手術が必要になるため、子供を授かることが難しくなります。がんが進行していると、子宮だけでなく卵
 巣等の周りの臓器も摘出することで、女性ホルモンが減少し、ほてり、動悸、不眠などの症状が起こりやすくなったり、
 神経がうまく働かず尿が出にくくなるなどの症状が現れることもあります。

●精神的にも身体的にも大変辛い思いをする可能性があるのですね。症状がなくてもがんを
 見つけることはできるのでしょうか？

子宮がん検診はがんになる前段階の変異している細胞まで見つけることができる検査なの
 で、初期の段階でがんを発見することができます。定期的に検査を受け、自覚症状のない段
 階の初期のがんを発見した場合は、子宮頸部の一部を切除する手術やレーザー治療などを
 行います。この場合、子供を産むことは可能です。妊娠を望む人が安心して妊娠・出産するた
 めにも、若い年代から子宮がん検診を受けることが大切です。

若い人だけじゃない！年齢に関係なく子宮がん検診は必要です!!

●子宮頸がんが若い人にかかりやすいのであれば、50歳以降の年齢の女性が検診を受ける必要性はあるのでしょうか？

確かに、子宮の入り口付近で発生する子宮頸がんは若い世代で多いですが、50歳以降では子宮の奥で発生する子宮
 体がんの患者さんも増え、特に閉経後に発生するリスクが高くなります。また、70代になると子宮頸がん、子宮体がん
 で亡くなる方が急増するので、検診を受けなくていいということはありません。子宮がん検診では希望すれば、子宮内膜
 の状態が分かるエコー検査を受けることも可能なため、子宮内膜症や子宮筋腫などの病気も見つけることができます。佐
 呂間町でも、昨年度の子宮がん検診受診者のうち、子宮筋腫などの所見があったり、病院での
 再検査が必要だった方は67名おり、がんに限らず30歳から80歳までの幅広い年代で婦人科の
 疾患がみられています。女性であれば継続的に子宮がん検診を受け、子宮頸がんだけではなく、
 あらゆる疾患を早期に見つけることが大切です。

佐呂間町では年2回の子宮がん検診を実施しています!!

●では具体的に、子宮がん検診はどのような検査を行うのでしょうか？

子宮がん検診では、子宮頸部の細胞をブラシですりとり細胞診という方法で検査を行
 います。1度受けて異常がなかったとしても、2年に1回は定期的に検診を受けるよう
 しましょう。

●検診はどこで受けられますか？また、費用はどの程度かかるのでしょうか？

佐呂間町では、年に2回子宮がん検診(集団検診)を実施しています。検診の流れとしては、受付・問診・細胞診という
 流れになっています。別途費用がかかりますがエコー検査を受けることも可能です。

検診	日時(受付時間)	会場	申込期日	料金	検査内容
子宮がん検診	平成28年10月24日(月)	町民センター	9月23日	1,000円	問診・子宮頸部細胞診
※20歳以上の 女性を対象	9時～10時/13時～14時			※エコー検査 (希望者のみ)	※エコー検査(希望者のみ)
	平成29年2月18日(土)	浜佐呂間活性化 センター	1月18日	検査希望の 場合は別 途520円	※子宮体部がん検診については 問診・診察(エコー検査)に て該当者のみ実施
	9時～10時				
	平成29年2月18日(土)	町民センター	1月18日		
	13時～14時				

町の検診の受診が難しいという方は、自己負担になりますが婦人科の病院
 で検査することもできます。また、佐呂間町では今年度対象となる方に、検
 診を無料で受診できるクーポン券を個別にご案内いたします。町の子宮がん
 検診と北見市の指定医療機関であれば利用することができるので、ぜひ無料
 クーポン券を活用して検診を受けてみましょう。

★クーポン券が利用可能な医療機関：北見赤十字病院・中村記念愛成病院・
 北見レディースクリニック・やまかわウィメンズクリニック

